

植物－3 キジョラン

照葉樹林に生え、つるが木の幹に絡んで成長します。若い茎は緑色で、古くなると木質化して灰褐色になります。葉は左右同じ位置につき、卵円形で先端が鋭く尖っています。葉の表面は緑色で光沢があり、裏面は淡緑色です。花は8～9月に咲き、茎と葉の付け根の間からのびる2～3cmの柄に数個の白い小さな花をつけます。袋果（たいか）



は緑色で長さ13～15cmの楕円形です。12月に果実が割れ、白く長い毛のある種子が風で飛んでいきます。

キジョランの名前の由来は、種子にある長い白毛を髪を振り乱した鬼女にたとえてキジョラン（鬼女蘭）とよんだことによります。また、キジョランには毒があり、アサギマダラの幼虫が葉を食べて体に毒を取り入れ、天敵から身を守っています。